

# 諫早市教育委員会会議録

平成28年第7回（6月定例）

# 平成28年第7回（6月定例）教育委員会

- 1 日 時 平成28年6月28日（火） 16時30分～18時00分
- 2 場 所 諫早市役所 5階 会議室5-1
- 3 出席者 委員長 緒方 正親  
委 員 秀島 はるみ  
委 員 大石 竜基  
委 員 宮本 峻光  
教育長 平野 博
- 4 会議に出席した事務職員  
教育次長 井上 良二  
教育総務課長 田島 正孝  
学校教育課長 福元 英典  
生涯学習課長 村川 美詠
- 5 議題  
教育長の報告  
議案第15号 全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて

## 会議録署名人の指名

平野教育長と緒方委員長を会議録署名人に指名

## 会議録の承認

- 平成28年第6回（5月定例）教育委員会の会議録について  
質問・意見なし  
原案どおり可決

## 教育長等の報告の要旨

### 1 教育長の報告

#### ○ 6月定例市議会について

平成28年6月市議会が明日閉会予定である。報告案件の森山東小の損害賠償については質疑もなく了承された。一般質問については、9人から事前通告されていて、学校の耐震化関係で2件、通学路の安全関係で3件、学校の防災計画関係で1件、人権、非行防止関係で3件、東西街区整備からみで市民センター関係が2件、認知症教育で1件と12件の質問があっている。

特に今回は4月に発生した熊本地震に関連した質問が多く、市の防災対策や避難体制などに質問が集中した。学校関係では校舎、体育館の耐震化の状況やその安全性の確認、学校での防災教育など質問があったところである。

本日、5月1日付け学校基本調査の諫早市立小中学校の児童生徒数の資料を配布しているが、今回の一般質問でも真津山小学校区の名切地区に小規模開発が進んでいて、この開発地区の児童が喜々津東小学校区に通学できないかとの質問もあった。喜々津東小は最盛期には20クラスで最多児童数は680人を超える時もあったが、今は8クラスの209人である。そういうこともあって今回の質問になっているが、以前真津山小学校は隣接小規模特認校制に同意が得られなかったこともあり、現状維持の答弁になった。この表でも分かるが平成33年度に真津山小学校が市内最大数になる見込みである。

○諫早市中学校体育大会について

市中学校体育大会が11、12日を中心に開催された。2日目の日曜日は、雨になり屋外競技はかなり影響を受けたところである。しかしながら雨で火曜日に延期された軟式野球では、決勝戦の諫早中、明峰中戦では全校生徒での応援の中開催され非常に盛り上がったと聞いている。諫早市代表の各部の県大会での活躍を期待したい。

○宮中献穀事業「お田植え祭」について

26日の日曜日に黒崎町で開催された今年の宮中献穀事業のお田植え祭に小野中の男女生徒が早乙女、早男として参加していた。この事業は長崎県内持ち回りで選定され、本年の事業が諫早市となったことから、献穀田に近い小野中生徒が行事に参加したもので、祝賀会の席で生徒一人ひとりが感想を楽しく述べていた。秋には収穫の抜穂祭が開催され小野中生徒が参加する。全市を挙げた行事に中学生が主役となり参加することは生徒たちにとっても貴重な経験になると思っている。

○教育週間について

6月は長崎っ子の心を見つめる教育週間として全小中学校が取り組んでいる。各学校が6月中での1週間で定め道德を中心とした取り組みを行い、その中で地域や家庭の参加を得て命や思いやりの大切さについて子どもたちと一緒に考えるものである。この週間中に土曜授業として授業参観など実施した学校が小学校で9校、中学校で6校あった。土曜授業については、諫早市が県下の先駆けとなるようこの週間も含めまずは年に1回以上取り組んでもらうよう各学校長には要請しているところである。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

学校教諭の勤務時間について問題点が指摘されているが、土曜授業に対する問題点などはないか。

[教育長]

教員の勤務の振り替えについて、休日出勤日の前4週、後8週のうちに代休を取得していたものが、前4週、後16週に拡大され代休を取得しやすい環境となっている。土曜授業については、教職員にも理解してもらっている状況である

2 教育次長の報告 なし

## 議 事 の 概 要

- 1 議案第15号 全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて  
学校教育課長説明

[委員]

学校別の結果非公表の理由として、学校間の過度の競争を招くとあるが、具体的にどういう事例があるのか。

[学校教育課長]

学校によっては、過去のテスト問題を正規の授業で行う事案があり文科省も問題視している。学校別の結果が出ることがその行動の要因となっているようである。

原案どおり可決

《教育総務課長の報告》

- 諫早市奨学生の選考結果について

[委員]

就職しても奨学金を返せない人がかなりいて、自治体によっては、返済当初の5年間で半分の返済額にして負担軽減を図っているところもあるようだ。諫早市は負担軽減の制度はあるのか。

[教育総務課長]

現在の制度としては、例えば大学4年間で借りた奨学金を倍の8年間で返済する制度をとっているが、奨学金返済の負担軽減は実施していない。6月7日に開催した奨学金運用委員会でも、低所得者の対応をどうするかなど、今後の検討事項としてあがっているところである。

[委員]

諫早市の奨学金の収納率が悪いということはないのか。

[教育総務課長]

平成27年度が91.9%となっている。

[教育長]

滞納者には、個別に分割納付などの相談を受けているところである。

[委員]

公的なものではなく私的な奨学金を借りて返済できない人の相談窓口はあるのか。

[教育総務課長]

市の機関であれば市民相談室が相談窓口となる。

《学校教育課長の報告》

○平成28年度学校訪問等計画について

[委員]

研究発表等の日程もわかり次第教えてほしい。

## その他

教育総務課長

定例教育委員会の日程について説明

18時00分閉会